

数学科（数学 I）学習指導案

日 時	令和元年 6 月 12 日（水）第 3 限		指導者	五味 稔	
学 級	普通科 1 年 1 組		教 室	生物教室	
単 元	第 3 章 2 次関数		教科書	改訂版 新編 数学 I（数研出版）	
指 導 目 標	1 関数の概念やグラフの意味を理解させるとともに、グラフの移動について理解させる。 2 2 次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。		指 導 計 画	第 1 節 2 次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 時間 2 2 次関数のグラフ 5 時間 (本時はその 1)	
	主 題	2 次関数のグラフ		課 題	教科書の 1 次関数の最大値・最小値の問題 (p. 73 練習 4) を解いて、板書させておく。
本 時 の 指 導 過 程	目 標	1 グラフソフトを参考に、2 次関数の一般形から頂点の座標を求めさせる。 2 具体例から帰納的に頂点の座標の規則性を見つけさせる。			
	学 習 活 動		時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準 ・ 方 法 ・ 資 料 等
	導 入	1 課題の確認をする。 2 本時の目標を確認する。	10	・「目標」を提示する。 ・2 人ずつのグループに分かれ、グラフソフトの操作方法を確認させる。	・プロジェクタ タブレット 演習用のプリント
	展 開	1 学習内容を説明し、プリントに提示された関数のグラフをタブレットに表示する。	10	・関数式を自分たちで入力し、そのグラフから頂点の座標や y 切片を調べさせる。	【評価規準】 ○ 頂点座標と y 切片を正しく読み取ることができるか。 < 数学的な技能 >
		2 練習問題(グループ学習)を行う。	15	・グループ内で、協力して問題を解かせる。係数と頂点にどんな関係があるか予想させて進ませる。	【評価規準】 ○ 一般形の式から、軸、頂点の式を考察しようとしているか。 < 関心・意欲・態度 >
	整 理	3 確認のテストを行う。	10	・グループで答案を作成し、その規則性を見つけさせる。グループで満点を目標とさせる。	【評価方法】 ○ 生徒の発言を確認する。 ○ 机間指導により評価する。
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の課題と学習内容を確認する。	5	・最初に提示した「目標」が達成できたか振り返らせる。		
備 考	生徒数 30 名（男子 16 名，女子 14 名）				